

合田幸広：“漢方今昔物語”，第1章 漢方産業を知る，第5章 22世紀の薬草政策につなぐ今：生薬国産化のキーテクノロジー，大阪大学出版会，大阪，pp.6-22, 74-94 (2015)

合田幸広：“qNMRプライマリーガイド”，日本薬局方におけるqNMR採用の採用と経緯，共立出版（株），東京，pp.160-7 (2015)

伊豆津健一：“バイオ医薬品の品質管理戦略”，第二章Ⅲ 安定性，（株）じほう，東京，pp.45-56 (2015)

阿曾幸男：“ICH M7変異原性不純物の開発段階からの評価・管理と申請/CTD記載法”，ICH M7ガイドラインの要求事項と各部門での取り組み/対応法，サイエンス&テクノロジー（株），東京，pp.17-27 (2015)

坂本知昭：“国内未承認薬の検定と品質基準”，寄生虫症薬物治療の手引き-2016-改訂第9.0版，「わが国における熱帯病・寄生虫症の最適診断治療体制の構築」研究班監修，（国研）日本医療研究開発機構，東京，pp.86-8 (2016)

石井明子，橋井則貴，鈴木琢雄，原園景，多田稔，日向昌司，新見伸吾他：“有効性・安全性確保のためのバイオ医薬品の品質管理戦略 クオリティ・バイ・デザインを取り入れた製造・品質管理”，川西徹監修，川崎ナナ監著，（株）じほう，東京 (2015)

川崎ナナ，原園景，石井明子：“糖鎖の新機能開発・応用ハンドブック”，第8編 糖タンパク質バイオ医薬品の開発と品質・安全性評価，（株）エヌ・ティー・エス，東京，pp.589-95 (2015)

Kikura-Hanajiri R: “Neuropathology of Drug Addictions and Substance Misuse Volume 2: Stimulants, Club and Dissociative Drugs, Hallucinogens, Steroids, Inhalants, and International Aspects”, New Designer Drugs in Japan, ed., Preedy VR, Academic Press-Elsevier, London, UK, pp.1055-84 (2016)

遊佐敬介：“有効性・安全性確保のためのバイオ医薬品の品質管理戦略”，第4章 品質管理Ⅲ ウイルス安全性，川西徹，川崎ナナ監修，（株）じほう，東京，pp.124-9 (2015)
佐藤陽治：“再生医療のための細胞製造ハンドブック”，紀ノ岡正博監修，（株）シーエムシー出版，東京，pp.146-58 (2015)

田原麻衣子：“qNMRプライマリーガイド-基礎から実践まで-”，第5章 qNMRの実例 5.1 環境汚染物質の標準物質の純度評価，共立出版（株），東京，pp.127-33 (2015)

Tachibana M, Asakura H, Watarai M: “Advances in Medicine and Biology Vo.97”, Widespread dissemination of Legionella pneumophila in aquatic environments, eds., Berhardt LV, Nova Science Publishers Ltd., Chichester, pp.2041-54 (2016)

畝山智香子：“食品の安全と安心，講座I”，科学者から見た食品のリスクと安全性，松田友義編，（株）幸書房，東京，pp.70-80 (2015)

畝山智香子：“「健康食品」のことがよくわかる本”，（株）日本評論社，東京，pp.1-232 (2016)

本間正充：“ICH M7 変異原性不純物の開発段階からの評価・管理と申請/CTD記載法”，第1章 ICH M7の適用範囲と既存ガイドラインとの関連性，サイエンス&テクノロジー（株），東京，pp.3-13 (2015)

本間正充：“衛生試験法・注解2015”，1.3 遺伝毒性試験法，注解，（公社）日本薬学会編，金原出版（株），東京，pp.135-8 (2015)

増村健一：“衛生試験法・注解2015”，1.3 遺伝毒性試験法，1.3.3げっ歯類を用いる試験，(2)トランスジェニック動物遺伝子突然変異試験，（公社）日本薬学会編，金原出版（株），東京，pp.159-61 (2015)

小島肇：“経皮吸収型製剤開発における基礎と実務への応用”，第4章 経皮吸収の測定・評価および安全性試験，第1節 動物愛護管理法と日臨床試験，杉林堅次監修，（株）情報機構，東京，pp.71-83 (2015)